

東 東っ子

<教育目標>
たくましさ ゆたかさ
かしこさ

<今年度の重点目標>
想像できる子の育成

令和3年7月1日 第3号

富良野市立東小学校

TEL 22-4895

FAX 22-4997

持久走記録会より

校長 山崎 省三

持久走記録会が行われました。運動会が延期となり、今学期初めての大きな行事でした。子どもたちはそれまで体育や休み時間などで元気よく練習する姿が見られました。

最初に行ったのは低学年の子どもたちでした。天気にも恵まれ走るにはちょうどよい気温の日、校舎側からグラウンドを走る子どもたちに応援するたくさんの保護者の皆さん。そして、子どもたちを見守ってくださったコミュニティ・スクールの方々。多くの方々の見学・応援する中、スタートで勢いよくダッシュで飛び出した子どもたちは、普段の練習よりも気合いが入っていたのかもしれない。やっぱり、たくさんの方々が観ていることは気持ちの支えになるものです。走り終えた子どもからはまだ頑張っている子どもたちへ応援する言葉が聞こえてきました。そして、最後まで頑張った子どもたちへみんなから大きな拍手がありました。

持久走記録会のねらいは、

- (1) 練習から記録をとることで、記録会への児童の意欲を高めること
- (2) 進んで運動に取り組めるように、日常的に運動できる環境をつくること

の2点です。けっして、順位や勝ち負けを求めるものではありません。ある学級では、練習の記録から本番時の自己目標タイムを設定してしまし

た。目標のタイムと同程度に走ることができれば、それは練習の時から自己ベストを目指していたということになります。応援が多かったことでタイムが上がったというのと意味が違います。つまり、自分自身のことをよく知り、そこから目標を立てられたということです。子どもたちはそこから自信をつかんでいきます。すばらしいことだと思います。結果よりも取組過程の中に大切なことがつまっている、そのことを認めたり褒めたりするようにしたいものです。記録会では、どの子どもも頑張っていました。その子なりの頑張りを見付け、声をかけ、自分のよさをどんどん気付かせてあげること、これは、子どもたちの周りにいる大人の大変な仕事です。



持久走記録会に向けて長い期間練習に取り組んできました。時間をかけてきたからこそしっかりとした確かな手応えがあるはずです。昨年の記録（頑張り）から今年の練習過程、そして本番がつつながり、自分のよさに気づき、自信が伴い「笑顔」に近づいていった記録会になったものと思いました。

